

ほんのもり 1月



No 6 .2023.01.
日の出中学校図書館

学校司書 中井孝子

～日の出中図書館だより～

3学期が始まりました。今年はどうな年にしたいですか？3学期は短い期間ですが、有意義な学校生活を過ごしてください。

図書館からのお願い

冬休み前に借った本は大至急返却してください！！



ウサギのことわざ知ってますか？

今年は兎年。ウサギにちなんだことわざを集めました。

- ・兎の登り坂＝得意とする事柄で能力を発揮すること
- ・兎の罫に狐がかかる＝予想しなかった収穫を得たり、思いがけない幸運に恵まれること。



(『用例でわかる故事ことわざ辞典』)

(桜井信夫『はじめてであう俳句の本』)
季語・新年〃おらが春

また年が明けて、正月になった。人々は新年を迎えた祝い事をしているが、私は取り立てて何をするでもない「ほどほどのめでたさ」であることよ。

小林一茶

めでたさもちゅう位なりおらが春

日の出中図書館よりお知らせ



- ① **1月20日(金)より図書委員が作成した本の福袋を貸出します！**
★新たな本との出会いがあるかも？みんな、借りに来てね！！
- ② **みんなに選んでもらった『図書委員大賞』が入荷しました！！**
★借りたい人は図書館へ急ごう！

絶賛展示中！！

令和4年度1年生国語『私たちの文豪～文豪ポスターを作ろう～』
『百人一首』が出来上がりました！1年生の力作を見に来てくださいね。



おすすめの本です



① ここ1，2年の全国公立高校受験によく出題された本です。（『徒然草』は原典から出題。）

『水を縫う』寺地はるな/集英社

高校1年生の松岡澄清は父母が離婚しており祖母、母、姉の3人で暮らす。間近になった姉の結婚を軸に「家族」とは？「ふつう」とは？について描く。それぞれの登場人物が生きづらさを抱えながら、どのようなラストを迎えるのか？

『すらすら読める徒然草』中野孝次/講談社

『徒然草』は教科書に出てくる有名な話しか知らない人も多いでしょう。この本では『徒然草』の中で筆者が人生の折々に大切にしてきた59話が読めます。原文と現代語訳セットになったそれぞれの話がテーマ別に組まれているので、気に入ったページだけをさっと読むこともできます。

② 働クエストとコラボ【お仕事本】

『なぜ僕らは働くのか』池上彰監修/学研

はっきりとした将来の夢がなく、自分に自信がない男子中学生がある本をきっかけに成長していく物語。「働く」ことだけでなく、「生きる」についても書かれていて、10代のみんなに読んでほしい本です。

『店長がバカすぎて』早見和真/角川春樹事務所

谷原京子は28歳の書店の契約社員。薄給の中多忙な仕事をてきぱきとこなす京子。一方山本猛という名前ばかり勇ましいが頼りない店長は京子のいら立ちの原因であり…インパクトある題名ですが、書店や本への愛がぎっしり詰まった本です。

③ 生き方・考え方の参考になる本

『友だち幻想』菅野仁/筑摩書房

「人と人とのつきあい」は難しいと思うあなたへの処方箋のような本です。若者向けにやさしい言葉で書かれていて読みやすいのに、とても深い内容です。ぜひ一度手に取ってほしい本です。

